

堺筋アメニティ・ソサエティ 街角コンサート  
(日本テレマン協会 創立50周年事業 大大阪ターフェル・ムジーク)

# テレマン室内オーケストラ

2013年5月17日(金) 18:00～ 約1時間  
アークホテル大阪心斎橋 1Fロビー特設ステージ  
地下鉄長堀橋駅4番出口真横

## 入場無料



「アメニティあふれる堺筋のまちづくり」を目指す沿道企業・団体の自主連合組織である「堺筋アメニティ・ソサエティ」。恒例の街角コンサートを昨年に引き続き、今年もアークホテルで開催致します。今回は創立50周年を迎えた日本テレマン協会の室内オーケストラ。クラシックの優雅な調べを、是非ご来場の上お楽しみ下さい。

(プログラム)

G.P.h.テレマン : 3つのヴァイオリンの為の協奏曲(「食卓の音楽」より)  
J.S. バッハ : G線上のアリア(「管弦楽組曲第三番」より)  
A.ヴィヴァルディ : ヴァイオリン協奏曲「四季」  
J.パッヘルベル : カノン ほか

(曲目が変わることがあります)

### 【テレマン室内オーケストラ】

1963年に指揮者・延原武春が結成。延原指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。主な受賞歴は「大阪文化祭賞」「音楽クリティッククラブ賞」「大阪府民劇場賞」「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)、「サントリー音楽賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンディジをミュージック・アドヴァイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ フェスティバル in ライプツィヒ2003」に出演しC.P.E.バッハ「チェンバロ協奏曲Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め2007年には同楽器によるF.J.ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。2008年にはクラシカル楽器による「ベートーヴェン交響曲全曲&莊厳ミサ曲」を連続公演。これがきっかけとなり延原はドイツ連邦共和国より功勞勲章を受章した。2009年よりテレマン室内管弦楽団をあらため「テレマン室内オーケストラ」と改称。2012年よりウッラ・ブンディースが首席客演コンサートマスターに就任。